

型	No	団体名	代表者	申請事業名	申請事業内容	事業実施目的	期待される効果	交付金額(円)
自立支援型	1	岡崎百景の会	成瀬 晋	ふるさと景観啓発事業	令和4年度に引き続き、岡崎百景を通して景観解説をテーマとしたツアーや、専門家を招いての夜間景観ワークショップ、新たな景観の魅力の評価・発掘に資する活動を行っていく。	本事業では「岡崎百景」を巡るツアーや、専門家を招聘しての景観講座、ワークショップを開催し、ふるさと景観の魅力を広く市民に伝えることで、市民が自ら身の回りの景観を考え、自らの手でより良い景観形成を行う気運を醸成し、市民が「次代に残したい」と考える景観を増やしていく。	ツアー参加者やSNSを見た人たちが、失って初めて気づく日常の何気ない景色を考えることで、見過ごしがちな景観に愛着や誇りを感じ、地域への誇りや愛着を感じるようになる。また、まちに調和した民地の照明や設えを知ること、調和のとれた街並み形成がもたらされる。	50,000
	2	NPO法人コネクトスポット	山下 祐司	多様な中高生へのキャリア支援事業	前年度の申請に引き続き下記の事業に取り組み、地域への認知度向上を図っていききたい。 ①定時制・通信制高校の個別相談会の開催 岡崎市内の定時制・通信制高校(8校程度)を広い会場に集めて個別ブースをつくり、来場した生徒や家族が各校の先生へ受験や入学後の相談をできる機会をつくる。 開催日時は進路選択の節目となる夏と秋を予定している。 ②中学校・高校への巡回相談 進路指導に悩む生徒がいた場合には学校の先生と連携して進路相談に応じる。必要な職業適正評価などを行う。	①困難な状況に置かれる中高生の進路選択の課題を解決する 不登校や複雑な家庭環境に置かれている生徒は学校生活や進路に悩んでいる方が多い。進路選択もどこに行っても良いか分からず、そのまま進学できなかったり、入学した高校でも適応できずに中退、ひきこもりになる傾向がある。それを防止するために必要な情報提供をしたいと考えている。 ②地域連携を図るきっかけにする 不登校の生徒のキャリアを考える場合には学校の先生が相談に乗っているが、必要に応じて医療機関や行政との連携や家族へのケアなど様々な対応が求められ、教育関係者だけでは対応できない状況になってきている。様々な人が足を運べる企画をすることで連携のきっかけをつくりたいと考えている。	1多様な中高生およびその家族への効果 進路に悩む中高生および家族が自分にあった進路選択をできることで前向きな気持ちになる。 逆に自分に合わない進路を選択してしまうことによる不登校や中退を予防することにつながる。 2地域(岡崎市)への効果 多様な中高生のキャリア形成を育てるにあたって、教育機関だけでなくNPOの支援スタッフなども関わりながら、みんなで成長を支えていける地域になる。	50,000
	3	「岩津松平氏輝きの600年」推進懇話会	阿部 太郎	岩津城跡整備と維持	1、岩津城跡整備と維持に係る事業 2、岩津城跡整備ボランティア隊の構築 3、岩津城跡を起点・終点とする歴史自然散策 4、地域の地理歴史についての調査研究活動	徳川家康公の先祖松平氏飛躍の地が岩津であったことに想いを寄せ、岩津城跡を歴史の表舞台に引き出す為に整備を始めました。	全域の整備にはあと約2年は必要としますが、その後、永く城域を継持管理し、歴史的文化財としての価値を高め、より多くの人々に知っていただき、又来てもらいたい。温故知新なる言葉がありますが、「新しきを知る」活動につながられる。	50,000
	4	食アレスマイルネット	栗田 洋子	ぱっと見てわかる食物アレルギー	地震、水害等の災害時に備え、一目見て食物アレルギーだと理解しやすい表示を作製、エビペン所持についても症状が出た時生かせるように表示を作製、患者の精神的負担を少しでも軽減できるよう、また命を救うために役立てる。単に作るだけでは生かさないの、作製した表示の認知度を上げるために様々な場で紹介していく。市役所防災課、岡崎市子育て支援団体等にも贈呈し、役立てていただく。	災害時避難所に避難した食物アレルギー患児親子が、食物アレルギーを理由に支援物資の受け取りを断られたら、周囲の人に非難されたという事例が発生したと伺っています。やっとの思いで避難した人が更に辛い思いをしないで済むよう、事故の起こりにくい体制を普段から整えておくことは、大切です。わかりやすい表示を作製し、広く市民に知っていただくために実施する。	普段から一人でも多くの市民が知っていることで、緊急時、災害時、患者の精神的負担を軽くすることができる。事故の起こりにくい環境づくりに繋げることもできる。	50,000
	5	イリゼ	西本 梓	ユニバーサルデザイン事業	LGBTQをはじめとする多様な方たちが、自分らしく、安心して集うことのできる場を「居場所(名称:KITEMIRIN)」として提供する。また、当団体が行うLGBTQに関する市民活動が、周囲に認知されるよう、そして、できるだけ理解が得られるよう、研修や展示会を通じて啓発を行う。	Diversity(多様性)、Equity(公平性)、Inclusion(包摂性)に関する取り組みを進め、LGBTQをはじめとする多様な方たちが、自分らしく安心して集うことのできる居場所づくりを行うことと並行し、LGBTQに関する「知る」機会をつくることを目的とした事業。	岡崎市をはじめとする三河地方は、大企業が多いが故に、職場を中心に周囲にはカミングアウトし辛く、性的マイノリティ当事者の中でも、特に“保守的”と言われている。それでも、誰ひとり取り残されることのない街を目指し、団体メンバーだけではなくここに集った方々、そしてアライ(理解者)の方々等との協働を進め、いろいろな「ちがいを岡崎市の「ちから」に変える/変わる、ことが期待できる。	38,000

型	No	団体名	代表者	申請事業名	申請事業内容	事業実施目的	期待される効果	交付金額(円)
事業支援型	6	自然観察の里を守る会	松崎 良一	里山保全事業	・自然観察の里の整備地約2haの里山保全活動 毎週土曜日に会員が整備地に集まり、草刈り、泥上げ、水まれし等の作業実施 ・ボランティアを受け入れ、作業を通じて里山の大切さを伝える ・6月のホタル観賞会、7月のこん虫教室、8月のポンツク大会を、子供たちを対象として実施。自然に親しむことで、子供たちに自然の素晴らしさを伝える	里山の環境を維持するために適度に人間の手を入れてできる二次的自然が里山です。この二次的自然が多くの地域で失われていきます。この大切な身近な自然を守り、次世代の人達に伝えることを目的としている。日本の自然環境、地球上の自然環境を守るために事業を実施している。	事業を実施することで、大切な里山を守ることができる。ボランティアの人達や、イベント参加者の親子、自然観察の里におとずれる人達に里山の二次的自然を実感してもらい、自然の素晴らしさ、大切さを次世代につなげてもらえると考えている。その先に日本の自然環境、地球上の自然環境を守ることにつながる。	30,000
	7	桜の郷の会	藤井 尚明	桜並木の景観保護次世代への継承事業	岡崎さくら100年プロジェクトに参加(公募)鹿乗川導水路970mに荘川桜60本植樹会員で桜木遊歩道の維持管理地域の景観住民との交流が生れ河川が美化され今後の活動(桜木管理)において次世代につなげ活動支援を行う	桜の郷の会での活動は桜木遊歩道の維持管理、桜木遊歩道にて住民との交流が生れ子供、孫に故郷を思い次世代につなげ活性化を図る目的	岡崎公園の桜、乙川の河津桜、北本郷の荘川桜を岡崎の名所にしたいです。名所になって人との交流活性化が生まれる	83,000
	8	バリアフリーミュージカル劇団<夢バグ>	丹羽 朱見	そのまま輝け!24年春	市内の各福祉事業所や美術関係団体等と連携し、バザー、絵画展、コンサート、演劇などの共同イベント。主催は当劇団。なごみんの3階ホールを借り切り、様々なブースを作る。	①「最も力の弱い者を中心に、各々が持つ力を最大限に出し合って創る社会」という当劇団の設立以来の理念を来場者達に訴えるため。 ②市内で活動している団体どうしの交流の場を設けるため。	「障がいのある人には優しくしよう」というようなお仕着せの常識ではなく、皆が対等な立場で創造することで、より豊かな文化や社会が生まれる、という事実を、伝えられると期待する(それ以上は、受け取り手の心の問題なので、言及できません)。	164,000
	9	岡崎星と遊ぶ会	神納 光	星空観望会	(1)広く一般市民を対象とした天体望遠鏡による星空観望会を実施する。 (2)各地で行われる各種イベントに協力参加し星空観望会を実施する。 (3)紙芝居風の星空案内で、誰にでも分かりやすく星空の解説を実施する。 (4)子どもたちに星座を体で覚えるダンスやクラフト体験を実施する。	本会は広く一般の人に天体望遠鏡を使い、星空に親しんでもらうことにより宇宙の広大さ、自然の美しさ、不思議さ、さらに地球環境の大切さ等に興味を持ち、考えるきっかけを提供すること、また広い心を育み癒すことを目的として実施している。また、岡崎中山間地域(オクオカ)の良好な星空環境を地域保存資源と考え中山間地の活性化を目的としてオクオカでの観望会も実施している。	星を見るのが好き、あるいは興味があるという人は多いが、実際に天体望遠鏡で星を観察すると、本市には天文台や科学館がないので観察体験したことがあるという人は少ない。このような状況を打破し、写真や映像ではない本物の星空を肉眼で見るといふ感動を伝えるとともに、上記実施目的を達成することができる。	55,000
	10	四字熟語と頭の体操	伊藤 ふで	四字熟語と頭の体操及び令和6年新春四字熟語かるた大会	・四字熟語(社会教育)…りぶら講座、老人会、小学校、サークルで四字熟語のかるた取り特に小学校、サークルでは児童が対象なので漢字、読み、文章の作り方、どの記事に関心があるのか将来の自分の方向性を考える機会を与え子供新聞を読ませている ・頭の体操(福祉事業)…シニア世代以上を対象に手指のリハビリ、歌、思考、判断力を高める脳トレ ・かるた大会…年齢・性別に関係ない四字熟語のかるた取り	四字熟語…年齢性別関係なく多くの人々に日本の文化である四字熟語を身に付けて多方面で役立ててもらおう糸口となるお手伝い ・頭の体操…健康寿命維持の為にリハビリを兼ねた上半身体操、歌、言葉作りゲームをする事に依り自己発揮出来るお手伝い ・かるた大会…講座以外でも多くの参加者が四字熟語を楽しむ事が出来る	かるた取りと言う学びの場を通じて国語力向上が図れ、更に国語文化に興味を持つ人達の底辺拡大が図れる又、遊びの場を通じて高齢者の喜び、楽しさを感じ脳の老化防止が図れ高齢者の自己促進(発揮)が見込める	77,000
11	岡崎市で発達障がい・不登校を支える会「ゆい」	森 誘子	発達障がいと不登校の子どもたちとともに歩んでいくために	毎月の交流会は、発達障がい、不登校の親が安心安全に話せる場所と時間を提供します。講演会は、関心のあるテーマを学び発達障がい不登校の理解につながります。その後の交流会では同じ悩みをもつ親のネットワークを作ることができます。	発達障がい、不登校の知識のない子育ては誰にも話せない孤独感を生み地域で孤立します。その親子の住む地域の人達は正しい支援の仕方がわからず寄り添う事ができません。地域で安心安全に生活するための知識と対応を学んでもらうため活動しています。	発達障がい、不登校の親子、そしてその地域の住民が発達障がい、不登校を正しく理解する事で寄り添う事ができ、また支援することができます。	135,000	